

## ▼リンコシン注射液 [注], ▼リンコシンカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】リンコマイシン塩酸塩水和物 Lincomycin hydrochloride hydrate 【分類】リンコマイシン系抗生物質

【単位】バイアル▼300mg/1mL・▼600mg/2mL・▼1g/3.33mL・▼1.5g/5mL, ▼250mg/Cap

【常用量】1回600mg1日2~3回 [1200~1800mg/日]

経口: 1.5~2g/日

【用法】1日2~3回点滴静注 (心停止を起こすおそれあり, 600mgあたり1時間以上かけて点滴静注), 筋注

1日3~4回経口投与

【透析患者への投与方法】設定されていない (1)

【その他の報告】投与間隔を2倍に延長 [600mg×2/日] (5) 常用量を12~24hr毎 (3)

【PD】常用量を12~24hr毎 (3)

【CRRT】不明 (3)

【保存期 CKD患者への投与方法】Ccr 10mL/min以下: 常用量を12~24hr間隔で投与 (1)

【その他の報告】GFR 10~50mL/min: 減量の必要なしもしくは投与間隔を2倍に延長, GFR 10mL/min未満: 投与間隔を2~4倍に延長 (12)

GFR >50mL/min: 常用量を6hr毎, GFR 10~50mL/min: 常用量を6~12hr毎, GFR 10mL/min未満: 常用量を12~24hr毎 (3)

【特徴】放線菌の一種である *Streptomyces lincolnensis* var. *linconensis* の產生する抗生物質. 細菌のリボソーム 50S Subunit に作用し, 蛋白合成を阻害する. 好気性グラム陽性菌, 嫌気性菌に効果がある.

【主な副作用・毒性】ショック, 大腸炎, SJS, 心停止, 無顆粒球症, 再生不良貧血, 汗血球減少症, 血小板減少性紫斑病など

【F】20~35% (1)

【tmax】0.38hr [im], 4hr [po] (1) 【Cmax】600mg1時間点滴静注時 16.63 μg/mL, 600mg 筋注 15.38 μg/mL (1)

【代謝】代謝されにくく主として肝から胆汁中に排泄 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率10~15% (12) ほとんどそのままで尿中または糞便中に排出 (1) 尿中回収率11.0~13.5% [im, 8hrまで] 約15~50% [iv, 7hrまで] (1)

【t1/2】4.6~4.8h r (1) 4~5hr (12) 腎不全10~20h r (1,12)

【蛋白結合率】28~86% (1) 70~80% (12)

【Vd】0.31~0.6L/kg (12) 0.41~0.57L/kg (1)

【MW】461.01

【透析性】除去されない (1) PBRにより変化 (5)

【pKa】7.6 【O/W係数】資料なし (1)

【更新日】20250602

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適合性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わざるものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインターネットフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断複数・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。